



ベルトスリングの点検基準

ベルトスリングは、日常点検⁽¹⁾ 及び定期点検⁽²⁾ を行って使用すること。

注 (1) 使用前に行う点検をいう。

(2) 定期的に行う点検で、使用頻度によって異なるが、原則として1ヵ月ごとに行う。

点検基準

点検項目	点検の種類		点検方法 目視	廃棄基準
	日常点検	定期点検		
損傷の状態(摩耗、きず及び縫糸の切断) (1) アイ	○	○		(a) 織目が分からないほどに毛羽立ちし、縦糸の損傷が認められるもの。 (b) 目立った切り傷、すり傷、引っ掛け傷などが認められるもの。 (c) 縫糸が切断して、アイの形状が保たれないもの。
(2) 縫製部	○	○		(a) 目立った切り傷、すり傷、引っ掛け傷などが認められるもの。 (b) 縫糸が切断して、ベルトのはく(剥)離が少しでも認められるもの。
(3) 本体	○	○		(a) ベルトの全幅にわたって織目が分からないほどに毛羽立ちし、縦糸の損傷が認められるもの。 (b) 幅方向に幅の1/10、又は厚さ方向に厚さの1/5に相当する切り傷、すり傷、引っ掛け傷などが認められるもの。 (c) 縫糸が切断して、ベルトの幅以上の長さにわたってはく離しているもの。
(4) 使用限界標示 (注)の露出又は消失	○	○		使用限界標示のあるものは、摩耗、傷によってアイ縫製部又は本体のいずれかの部分において、標示が著しく露出又は消失したもの。 (注) 使用限界標示は、厚さ方向には白芯地層、幅方向にはオレンジのラインで示します。
その他の外観異常	○	○	目視	熱や薬品等による著しい変色、着色、溶融、溶解などが認められるもの
使用期間		○	管理台帳、表示などの確認	常時屋外で使用する場合は、使用開始後3年を経過したもの。但し損傷などにより廃棄の状態にあるものは、この期間に関係なく廃棄してください。
金具				
(1) 変形	○	○	目視	曲がり、ねじれ、ゆがみなどが認められるもの。
(2) きず	○	○	目視	著しい当り傷、切り欠き傷などが認められるもの。
(3) 亀裂	○	○	目視	亀裂が認められるもの。
			磁粉深傷又は浸透深傷	目視によって亀裂の疑いがあり、点検方法に定められた方法で亀裂が認められるもの。(JIS-G-0565、JIS-Z-2343を参考)にして下さい。
(4) 摩耗		○	計測	摩耗量が元の寸法の10%を越えるもの。
(5) 腐食	○	○	目視	全体に腐食が認められるもの、又は局部的に著しい腐食のあるもの。
当てもの	○	○	目視	著しく変形又は破損したもの。

取扱説明書

B-8818
391002

ダイニン® テトロン® 使用

KHスリング



KHスリング

は

強力ポリエステル糸を使用しているために物を傷つけることがなく、扱いやすく物流システムの手段として、スムーズに作業を進めることができ、より効果的なベルトです。

各種製品及び部品等の吊上げ、移動、運搬用に最適です。(例えば、軽金属品、鉄鋼材、機械、石材、鋼管、プラスチック製品、電気製品、木製品、その他。)

三層構造ベルトは取替時期を知らせる使用限界表示を内蔵してあります。
〔第2層(白芯地層)が露出したら廃棄の目安です。〕

代理店

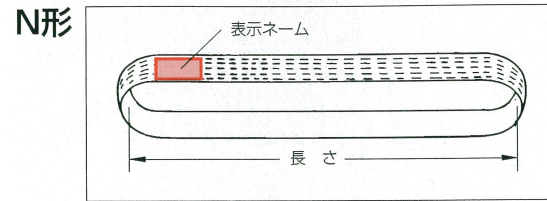
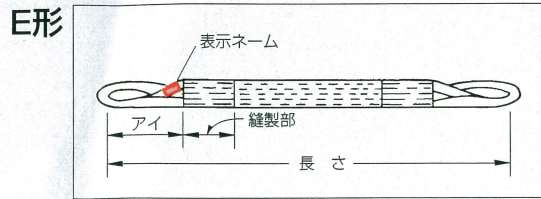
日本工業規格表示許可工場

製造元 **川口細巾織物株式会社**

〒430-0912 浜松市茄子町446 TEL 053-461-1401
FAX 053-461-5937

KHスリング

E形(両端アイ形)・N形(エンドレス形)の比較



幅 mm	アイ長さ mm	縫製部長さ mm
25	200	200
35	250	200
50	300	230
75	350	300
100	450	300
150	500	400
200	550	400
250	800	430
300	1000	450

- ・E形・N形とも長さをご希望通りにできますが、標準品として25、35、50、75、100、150、200、250、300mm幅は、0.5m間隔で製作しています。
- ・アイの長さはクレーンフックの都合で、大小希望通りに製作できます(規格外品)。また、50mm幅以上のものはフックに掛けやすいように絞り加工をしています(E形)。
- ・合成繊維を縫製加工したものですので、寸法に多少の誤差があることをご承知おきください。
- ・仕様は予告なく変更することがあります。

JIS-B8818 等級(Ⅲ)使用荷重表

 其他等級には(I等級(例)50mm幅使用荷重1.0t) (II等級(例)50mm幅使用荷重1.25t) がありますので使用荷重にはご注意ください。

(単位: t)

ベルト幅 mm	E形(両端アイ形) N形(エンドレス形)	破断荷重 kN以上	基本使用荷重	バスケットつり				チョークつり				
				α=角度				α=角度				
				0°	45°	60°	90°	0°	45°	60°	90°	
25	ⅢE形	50	0.8	1.6	1.44	1.36	1.12	0.64	1.28	1.12	1.04	0.88
	ⅢN形	100	1.6	3.2	2.88	2.72	2.24	1.28	2.56	2.24	2.08	1.76
35	ⅢE形	75	1.25	2.5	2.25	2.12	1.75	1.0	2.0	1.75	1.62	1.38
	ⅢN形	150	2.5	5.0	4.5	4.25	3.5	2.0	4.0	3.5	3.25	2.75
50	ⅢE形	100	1.6	3.2	2.88	2.72	2.24	1.28	2.56	2.24	2.08	1.76
	ⅢN形	190	3.15	6.3	5.67	5.35	4.41	2.52	5.04	4.41	4.09	3.47
75	ⅢE形	150	2.5	5.0	4.5	4.25	3.5	2.0	4.0	3.5	3.25	2.75
	ⅢN形	300	5.0	10	9.0	8.5	7.0	4.0	8.0	7.0	6.5	5.5
100	ⅢE形	190	3.15	6.3	5.67	5.35	4.41	2.52	5.04	4.41	4.09	3.47
	ⅢN形	400	6.3	12.6	11.3	10.71	8.82	5.04	10	8.82	8.19	6.93
150	ⅢE形	300	5.0	10	9.0	8.5	7.0	4.0	8.0	7.0	6.5	5.5
	ⅢN形	600	10	20	18	17	14	8.0	16	14	13	11
200	ⅢE形	400	6.3	12.6	11.3	10.71	8.82	5.04	10	8.82	8.19	6.93
	ⅢN形	750	12.5	25	22.5	21.25	17.5	10	20	17.5	16.25	13.8
250	ⅢE形	500	8.0	16	14.4	13.6	11.2	6.4	12.8	11.2	10.4	8.8
	ⅢN形	1000	16	32	28.8	27.2	22.4	12.8	25.6	22.4	20.8	17.6
300	ⅢE形	600	10	20	18	17	14	8.0	16	14	13	11
	ⅢN形	1250	20	40	36	34	28	16	32	28	26	22

注) 下記の事項には注意してください。

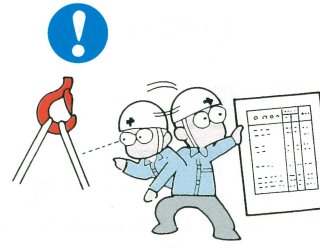
- (1) 常温下での使用を中心に設計されておりますので、苛酷な温度条件下ではその機能を十分に果せない場合があります。(100℃以下で使用してください。)
- (2) 鋭利な物を吊す場合には接触部に当てものを使用してください。
- (3) 酸類には使用できません。(酸類にはP.Pスリングを使用してください。)
- (4) 白芯地層が見えたら使用を中止してください。
- (5) 未使用品と使用済み品の、対または組での使用はさけてください。(長さの違いによる荷物の片吊りがおこります。)

使用上の注意

必ずお読みください。

必ず、行なっていただきたいことを表わすマークです。
 絶対に行なってはいけないことを表わすマークです。

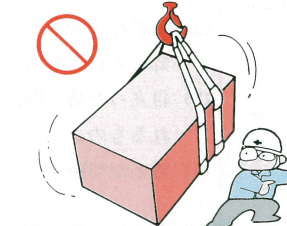
- 必ず使用荷重以下で使用してください。荷物の重量を確認して、使用目的に適したベルトを使用してください。



(使用荷重表を参照ください。)

 ベルトスリングは、消耗品です。必ず保守及び日常点検、定期点検を実施して使用してください。

- 片吊りは避けましょう。



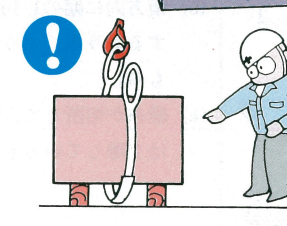
2本のベルトを対で使用する場合はバランスよく吊り、滑りや横振れがないように注意してください。(ベルト切断事故等の原因となり大変危険です。)

- 酸・アルカリでは使用しないでください。



化学薬品を伴う作業には、耐化学薬品用のPPスリングを使用してください。

- ベルトを引き抜いたり引きずらないでください。



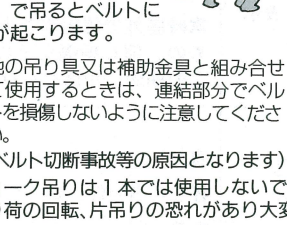
枕木を置いて隙間を作ってベルトを引き抜いてください。(ベルトに摩擦損傷がおきます。)

- 吊っている荷物の下には絶対に入らないでください。



荷物の落下事故の未然防止です。

- 目としり(チョーク吊り)する場合は、「深絞り」してください。

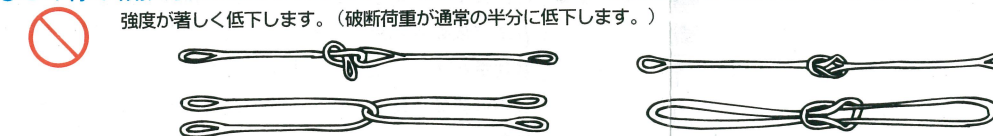


「浅絞り」で吊るとベルトに摩擦損傷が起こります。

 ※他の吊り具又は補助金具と組み合わせる使用ときは、連結部分でベルトを損傷しないように注意してください。(ベルト切断事故等の原因となります)

 チョーク吊りは1本では使用しないでください。吊り荷の回転、片吊りの恐れがあり大変危険です。

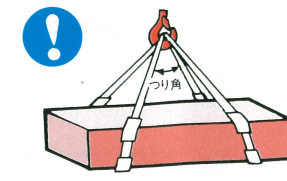
- この様な結接方法は絶対にしないでください。ベルト切断事故等の原因となります。



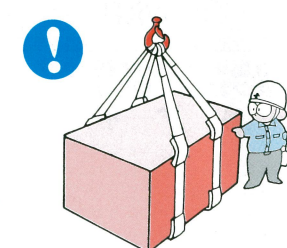
管理と保管方法

- (1) 受入(購入)時に対、又は組で使用する場合は、長さの確認をしてください。若干の長さの差があり、片吊りになる事もある。(対、又は組で使用される場合は、その旨注文の際指示してください。)
- (2) 使用前に、使用中で発生する傷の有無を常時点検して使用してください。尚、ベルトの幅方向に幅の1/10又は、厚さ方向に厚さの1/5の損傷又は白芯地層が認められるものは破棄してください。
- (3) 対、又は組みで使用されるベルトについては、バラバラ

- 吊り角度は原則として60度以下で使用してください。



- 角には必ずコーナーベルトを。



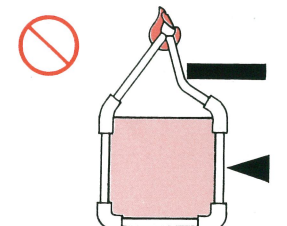
角張った荷物には、別売の保護コーナーベルトを必ず使用してください。(例: 鉄板、H鋼、トタン、テトラポット、U字溝、コンクリート製造物、船等)

- 荷物の温度は100℃以下。



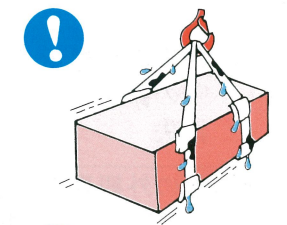
熱い物の吊り上げはできません。

- 吊った状態で鋭利な物や固い物に接触させないでください。

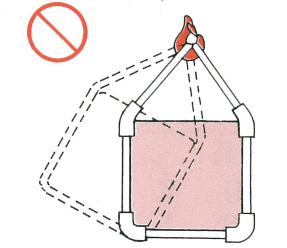


鋭利な物に接触すると、ベルトが容易に傷つき、切断事故の危険があります。

- 水・油に濡れると滑り易くなるので注意してください。



- 吊った状態での横振りはさけてください。



アイ部分に著しい摩擦損傷が起こります。

- にならないように組合せで保管し、交換の際は一緒に取り替えてください。
- (4) 保管場所は、耐候劣化の起きにくい、直射日光の当たらない場所に保管してください。
 - (5) 汚れは出来るだけ落として保管してください。
 - (6) 管理の項、できるだけ使用管理日記を記載してください。
 - <項目> ○ ベルトNo. ○ 対ベルトNo. ○ 使用期間
 - 使用状況 ○ 累積荷重量の把握 etc.